



高峯頂上からの鵜岳



No.81

平成21年11月13日発行

たるみず

市議会だより

平成 21 年第 3 回定例会

- 一般質問 ①～⑦
- 委員会所管事項調査 ⑦
- 議案等の審議結果 ⑦～⑨
- 公営企業決算特別委員会審査結果報告 ⑨～⑩

発行／垂水市議会
編集／垂水市議会だより編集委員会
鹿児島県垂水市上町 114 番地
Tel 0994-32-1111 (358)

一般質問

平成21年第3回定例会は、9月1日から9月18日まで18日間の会期で開かれ、8日・9日の本会議で12人の議員が一般質問をおこない、うち11人より「市議会だより」の原稿提出がありました。

- 紙面の都合により主な項目について、質問と答弁の要旨を質問者の文責により掲載しております。
- 掲載の順番は質問順（質問通告書提出順）です。
- 詳細につきましては、図書館・両支所・各地区公民館・市役所2階の情報公開室にあります「会議録」をご覧ください。
※本市のホームページでもご覧いただけます。（会議録は12月上旬より閲覧できます。）



子育て世代の支援によって 更に住み良い垂水を!!

尾脇 雅弥 議員

問 子育て支援について、「少子化・高齢化問題」は日本が抱える最大の課題で、本市の現状は特に深刻です。子育て世代の環境を整えることで定住がはかられ、結果として高齢化問題の解決に繋がります。子育て世代をしっかり支えることで地域の安定・発展に繋がると考えますが、拠点づくりの中心について伺います。

答 昨年子育てグループの代表から専門知識を持つ職員が常駐する「子育て支援センター」設置の要望があり、市情報センター（キララメッセ）での開設を準備しております。当面は週5日・午前10時～13時に開設。保育士が常駐し、幅広く対応する。

問 新型インフルエンザ対策について、最優先・優先接種の対象者と拡大防止策は？

答 本市における最優先対象者は◎医療従事者約3000人。◎妊婦約70人。◎1歳未満の乳幼児と両親約3000人。◎1歳～就学前の乳児約5000人。◎基礎疾患を有する者約2,000人。合計

約3,170人。また優先接種者として◎小中高生1,652人。◎65歳以上の高齢者約6,340人。合計約7,992人。総計11,162人。防止策として市民への感染予防の啓発・学校での健康チェック、マスク・消毒液対策を実施中。

問 企業誘致について、今後水産物に限らず農畜産物を含め、加工して販売して頂く種の企業誘致・あるいは地元企業の支援が必要と考えます。今回新規参入するグローバル・オーシャン・ワークス（株）の概要、メリットは？

答 牛根・垂水産の養殖ブリ約6キロ以上を独自の技術で加工し、真空冷凍・生鮮品として海外へ輸出する。加工場を牛根麓に建設。12月開始予定。スタートはパートを含む24人（10名以上の地元採用）で初年度約6億円の生産額を見込んでいます。

（その他質問事項）

- 行政の人・金の無駄改善
- 元垂水港冬場の北風対策



市民の健康増進のため 待合所に血圧計の設置を!!

大藪 藤幸 議員

問 市民課待合所に市民のためにコピー機と血圧測定機の設置はできないか伺います。

答 新たなコピー機の設置となると設置場所の確保、リース代などの維持管理、操作の問題等が発生します。そのため、図書館あるいは市民館などで実施しているように市民課のコピー機を利用して、1枚当たり10円でできる体制づくりを行いたい。

問 血圧計については、設置をしたと考えている。設置場所、機種の設定等を協議したいので、しばらく時間をいただきたい。

答 垂水中学校のトイレの改修予定と垂水中央中学校校庭の東側への拡張の予定。また、通学用スクールバスの営業選択及び入札時期について伺います。

問 当初大規模改造工事計画では、生徒や学校関係の安全面を考慮し、校舎及び体育館の耐震化を優先する計画で、既に耐震化されているトイレについては改修は考えていなかったが、現状では絶対数の不足や老朽化により故障等

が生じており、統合による生徒数の増加で不便性も考えられる。生活環境の面でも大事な部分であるので、洋式トイレの増設、障害を持った生徒への対応とした多目的トイレの設置、老朽トイレの改修等の検討を考えている。校舎の改修工事とは別にトイレの質的整備事業があるので、関係者と協議し、早い時期に事業計画の変更を検討したい。拡張問題については、用地取得や市道付け替え工事、旧教職員住宅の解体工事費などの財源が必要となるので、早い時期に用地取得ができるように関係課と協議を進めたい。

問 スクールバスについては、現在の方式の車両を含めた全業務を委託する専用スクールバス委託型を考えている。また、入札時期については車両、運転手の確保、法的な手続き等から来年1月ごろの入札を考えている。

（その他質問事項）

- 市道49号線（マイロード）の街路樹問題



フェスタ街灯おどり

垂水市食肉センターの新設・ 民営化の方向は？



感王寺 耕造 議員

問 と畜場特別基金の推移と今後の見通しは？と畜場を新設した場合、土地代を省いて幾らかかるのか？垂水市食肉センターは、昭和51年に設立され老朽化が著しいが、新設の方向性は？また、財政健全化法とのからみからも、完全民営化で運営すべきであると思

答 と畜場特別会計は平成11年度末に2億5千万程度の基金を有していたが、21年度末の予定では300万程度でございます。と畜場を新設した場合、15億から20億程度と予想されます。議員指摘のとおり、老朽化が著しく新設の方向性で検討してまいります。県内12のと畜場が全部民営化されており、こういう時世を考えますと、当然民営化の方向に変えてい

かなければと考えます。関連する課がまず集まって、今後市の方向性をまとめたいので、運営協議会が機能するように図ってまいります。

問 道路維持班は土木課の所管となっているが、市民ニーズにより応えていくためにも市民相談サービスクラスへ移管変更すべきと考えるが、市長の見解は？また、機構改革を行い道路維持班への拡大充実を図ることによって雇用創出を図れるのではと考えるが、市長の見解は？

答 維持班につきましては、市民のいろいろな需要にお応えしてきております。今後やはり続けていかなければと思っております。ただ、編成内容、担当課をどこにした方がいいのか、ちょうど職員が退職しますので、これを機に新たな体制を検討していきたいと思っております。雇用の創出については、市全体として引き続き努力してまいります。

バイオマス事業継続断念 垂水市の総括は？



池之上 誠 議員

問 畜産業の循環型社会の構築に貢献する事業として期待が大きかった地域バイオマス熱利用フィールドテスト事業（FT事業）の継続断念とプラント施設解体費用を含めた支出について見解を伺う。また、循環型社会構築のために実施されている、資源リサイクル畜産環境整備事業について取組状況と環境保全を含めた効果について見解を伺いたい。

答 実証実験の成果として、評価委員会からも高い評価を受けている。しかし、事業性の面では現有規模では採算確保は困難である。将来の財政負担や民間資産購入への起債充当はできないこと、発酵層部分での焼却カスの飼料化利用も検討課題が多く困難であること等により、プラント譲渡・事業継続を断念した。今回のFT事業に、民間各社も多額の費用を投じ、「垂水方式」の成果を生むために尽力頂いたことを理解いただき、市の支出に関しても理解を頂きたい。

地域環境に配慮した畜産経営のための本事業は、4年間10億円の

事業規模で本年度終了である。生産者・地域環境面では、公害防止協定書の策定等も重要であるので、行政推進・遵守の取り組み姿勢で臨みたい。

問 大隅定住自立圏形成協定書案の夜間急病センター開設と、本市の医療政策の方向性及び、本市の戦略的政策の乳幼児等医療費助成制度の現状について伺う。

答 夜間急病センターは、内科・小児科を夜間18時から翌朝7時まで年中無休で初期救急医療として診療する計画で、3市5町が協力して行う。本市の医療体制については、今後確実に疲弊することが予測され、医療・福祉・介護の連携をとり、体制整備を図って行きたい。中学生までの医療費助成は、月額三千円を超える分につき市単独で助成しているが、改正前後で1.5倍の制度利用があった。

今後とも、制度周知と適正受診をお願いする必要がある。

（その他の質問事項）

○中学校開校式・事業について
○介護認定制度について



メダカ为学校

早崎改良事業と海潟拡幅 事業の早期完成を！

川畑 二郎 議員

問

燃油高に続く資材高騰や魚価安、金融不安等の影響など、漁業を取り巻く環境は非常に厳しい状況である。国は21年度補正予算で緊急保証の支援を行うよう決定しましたが、この保証制度の内容について教えていただきたい。

答

この制度は、近年魚価の低迷や餌飼料の高騰、消費の落ち込みなどにより、漁家経営を取り巻く環境は非常に厳しい状況であるため、中小漁業者等における漁業活動の維持のために設けられた制度です。具体的には、中小漁業者、水産加工業者が対象者であり、漁獲金額の減少や利益率が低下している者としております。認定要件は漁業信用基金協会が確認いたします。担保があれば2億円、担保なしでも保証人があれば8千万円、無担保、無保証人でも1,250万円で、出資金は不要です。保証期間は融資期間と同じで最長15年間でございます。漁業者にとっては大変ありがたい事業であり、今後の経営に活用してい

ただければと思います。

問

国道220号早崎改良事業は、凍結解除の意見書を現地で提出、地域を支える経済道路として再開が決定した。今後の推進計画と海潟拡幅について。

答

早崎改良については、小浜地区とトンネルを含む脇登地区に分けて推進されます。今年度小浜地区は用地幅ぐいの設置、脇登地区はトンネル工法、構造等の設計に係る地質調査のための用地の立ち入りの説明会が開催されます。

小浜、脇登両地区の路線改良に伴う用地買収や工事着工は22年度以降になるものと思われま

海潟拡幅工事は21年度で完了地区とされており、工事発注時期によっては完成までは、繰越になることも予想されます。



鹿屋市との定住自立圏構想は 合併または道州制への流れでは？

森 正勝 議員

問

定住自立圏構想について鹿屋市との提携によるメリットはどのようなものが考えられるかまた、常に対等、平等でなければならぬと考えるが、この条件をつくれるのか、それから構想の根底に、合併あるいは道州制への基礎自治体づくりというのが見え隠れしていると思うが、それについてはどのように考えられますか。

答

定住自立圏構想は、圏域一体となった地域の活性化を図るため、地方圏からの人口の流出を食い止め、地方圏への人の流れを創出する観点から推進していく施策であり、経済圏や生活圏をとにもする自治体が連携して、住民の暮らしに必要な生活機能を確保し、中心市は集積した都市機能を提供することで圏域全体の活性化を図るもので、協定の締結は本市にとっては大きなメリットである。この構想は、あくまでも新しい広域行政の仕組みであることから、新たな合併の布石となるものではない。

問

新型インフルエンザについて垂水市の対策はどうなっているのか教えていただきたい。

答

国、県等の情報収集など積極的に行い、市民への周知、啓蒙を図っております。市報による広報、集会施設等にポスター等の掲示、防災無線による広報、また学校、幼稚園、保育園、社会福祉施設等における予防、蔓延防止策など情報提供を行っている。新型インフルエンザワクチンにつきましては、年度末まで1,300人、1,700万人分、2月末まで最大3,000万人分の確保が限度であり、不足分については、海外からの調達を考えている。

問

グローバル・オーシャン・ワークス(株)が牛根麓で12月操業開始とのことですが、雇用と経済効果は？

答

操業開始時の従業員は、社員12名、パート12名の24名で、地域の活性化、経済の発展に貢献するものと期待している。



上松原七夕

問 垂水市内の全国学力テストの結果を教えてください。その結果を踏まえて、今後の指導方針を教育長に伺います。

答 本市におきましては、小学校国語Aと中学校国語Bでは全国及び県平均を上回っておりま
す。また国語、算数、数学ともに知識に関するA問題より活用に関するB問題に課題が見られるため、知識の活用力を育成する必要がありと云えます。従いまして本市では、教員の現状に対する危機意識を喚起し、各学校で指導法改善を進め、特に授業モデルを活用してわかる授業の充実に努めます。次に学力向上には家庭学習の充実も大切です。家庭学習の習慣化を図らせ、基本的な生活習慣について各家庭で見直しを図るよう各学校を指導してまいります。

問 垂水幹部派出所前の交差点から森山種苗店、ニシムタの前の改良についてと元垂水原田線の元垂水から市木集落へ上がる道路



除去草木を高峠や堆肥センターへ持ち込みは！

池山 節夫 議員

の改良について伺います。

答 垂水4号線につきましては改良の必要な路線と言えませんが、財政的な見地から近い将来での着手は困難な状況です。次に元垂水原田線ですが、平成23年度に測量設計を行い24年度から市木地区の着工をりたいと計画しています。

問 地震防災マップの作成について見解を伺います。

答 地震防災マップの作成については全国で41%、鹿児島県では5つの市町村のみが作成されています。住民がこの地震防災マップを使って、どのような危険が身の回りにあるのか認識してもらうために必要なマップであることは承知しておりますが、平成27年度までに策定予定の耐震改修促進計画の中で地震防災マップを作成するよう考えています。

(その他の質問事項)

○除去草木の処理・処分について



語り継ぐ大切さ、安心できる生活を市民の立場で！

持留 良一 議員

問 平和の大切さと歴史の事実をどう伝えていくか行政や教育の場で求められている。特に戦争を語り継ぐという点では体験者が高齢になり、資料の保存も難しくなっている。第6たるみず丸転覆事故を風化させない活動も始まった。また、旧海軍航空桜島基地等の新たな資料も発見された。関係者の思いは「平和を大切にしたい」ということであり、行政や教育の役割がともめられているが、どのように検討していくか。

答 (市長) 合同慰霊祭や資料等の発見やパネル展の取組みは、平和の大切さを語り継ぐために貴重なものである。行政でどのような取組みができるか検討したい。

答 (教育長) このことは語り継ぐ必要があると痛感している。また、平和について考える貴重な事実であるのとらえている。2つのことについては平和を希求する児童生徒を育てる為に写真や文献等の資料活用、お話を聞く体験的な学習等が考えられる。

問 橋梁の長寿命化調査の結果と対策から雇用景気対策を考えたい。老朽化が進み重大な問題にも関わらず対策が進んでいない。維持補修費も減らされている。予算の確保や計画的な対策が必要であるがどうか。

答 臨時交付金で長さ15メートル以上の31橋については概略点検調査を終えた。15メートル未満の68橋の専門点検は予算が確保されていない。異常が見られた橋梁の老朽化対策は長寿命化計画を策定し、交付金事業として申請していく。残りの対策費は不透明ではあるが、橋の大小に関わらず危険度は同じであり目視点検を続け、緊急度のあるものについては対策費の予算化を図っていきたい。入札方法については経済対策の面からも地元業者とのJV方式等を検討していきたい。

(その他の質問事項)

○地域の生活交通対策

○総合的な子育て支援 (保育所の退所問題等)



垂小能発表会



牛根地区の諸問題と 環境対策・自然保護について

堀添 國尚 議員

問

牛根麓に進出するブリの加工場の排水対策について。牛根麓地区の場合は湾奥になり海潟、古江とは違った規制値が設けられていると思うが、排水対策は万全なのか？

答

排水対策については、市との立地協定で環境保全等については万全を期されると考える。また、工場からの排出水は鹿児島湾に流出するが湾奥部は閉鎖的水域であることから、当区域は水質汚濁防止法の規定に基づく一律排水基準より厳しい上乘せ基準が県の条例によって定められている。工場からの排水量が少ないためこの基準は適用されないが、会社側はこの厳しい上乘せ基準よりさらに良質にする排水処理施設を設置する計画である。

問

国道220号の麓地区、境地区までの整備計画の現状は？

答

麓地区は、歩道整備の候補所として考えている。辺田地区・二川地区は現在工事に着手している。境地区は、用地幅ぐいの

設置・用地調査、それに伴う用地買収する予定である。

問

猿ヶ城に建設されるバンガローや活性化施設の排水を直接本流に流す計画であるが、もっと良い方法はないのか？

答

猿ヶ城活性化施設並びにバンガローの排水処理については当初環境への配慮のため2年ほどまえから県と協議を重ね、放流しない方式として、蒸発散処理方式や土壌浸透方式の採用を検討したが、使用実績が少なく県の構造審査に合致しないため、構造上のこと、維持管理上の安定性を検討し、最終的に合併処理浄化槽方式が最適な方法であるということになった。確かに環境問題は非常に大事なことと思っているが、補助事業として認められなければ事業ができなかったということなども理由としてありますので、理解いただきたい。

(その他質問事項)

- 旧国鉄跡地の整備計画は？
- 境大園地区の山崩れ防止策は？



財政健全化判断比率による 本市の財政状況の推移は？

田平 輝也 議員

問

鹿児島県内市町村の20年度決算の結果など財政指標の公表も近いと思いますが、本市は19年度に比べてどうだったのか。特に将来負担比率は県内18市の中で16位と他の市と比較して高かったようですが、今後の見通しと対策を伺います。

答

平成20年度決算に基づく実質公債費比率は15.8%で、19年度と比較して、0.5ポイントそして将来負担比率も150.4%で19年度と比較した場合23.7ポイント低くなりました。今後、地方債の抑制や職員数の削減、債務保証・損失補償などの縮減を図ることにより今後とも順調に下げていけるものと考えております。

問

今、全国的に不況が続いております。国もいろいろな雇用対策を講じておりますが、なかなか改善の兆しが見えてきません。このようなおり、鹿児島県がカンパチの種苗生産施設に10億円余りを投じて整備することです。これからの企業誘致や既存の企業に対

する支援や協力など市としての取り組み状況と今後の考え方を伺います。

答

本市にある県の水産試験場跡地の利活用、また先日誘致ができたグローバル・オーシャン・ワークス株式会社等、今後雇用も発生するものと思っております。その他に国の補助事業により水産課で現在2名を雇用しており、今後も2名の雇用を予定しております。土木課・商工観光課では森林組合等へ委託して長期・短期の雇用対策を実施し、十数名を雇用しており、今後も継続して雇用の改善に取り組みたいと考えております。農林課では農地法の改正で企業の農業参入が図られやすくなり雇用対策ができると思われま

問

国民健康保険における医療費の現状は？

答

国民医療費が一人当たり267千円ですが、本市は367千円で年々高くなっております。

(その他質問事項)

- 監査機能の充実について



肝属地区緑の少年団実践交流会



市役所本庁は地震災害対策本部としての機能が発揮できるのか？

宮迫 泰倫 議員

問 災害に関する調査研究で市役所本庁に關しての研究は行われたのか？（地震災害に耐えられる市役所なのか。）地震災害における通学路の危険箇所対策（ブロック塀など）は考えているのか？水害時の側溝（古い三面張）の強度、また河川の寄り洲、河床等の整備等はどう対処されるのか伺います。

答

大地震発生時に司令塔を果たすべき市役所が倒壊すれば、復興に時間がかかり、より地震の被害を大きくしかねない。庁舎の移転、新築、改装等の手段があると思うが、仮に庁舎新築となると全部で30億かかると言われてい

る。職員や来庁者の安全を考えれば、早急に手をつけなければならぬと十分わかっている。昨今の交付金等の削減や厳しい財政運営の中で庁舎の新築のために積み立てる余裕がない。いずれにしても重要な問題であるので、今後考えていかなければいけないと思っている。

通学時の児童生徒の安全確保

のためにも通学路にあるブロック塀等、地震時に壊れやすい危険箇所の把握を早急にやらなければならないと考えている。自主防災組織や振興会を通じて調査に取りかかり危険箇所が判明した場合、補助金等があれば修復等についてはスムーズに進むが、市の財政状況も厳しいものがあるので所有者の方々へ事情等を説明し、管理責任者である所有者のほうで補修をしていただきたいと考えている。

垂水高校前の側溝については、総体的な耐久度の判断は難しい。崩壊側溝については新たに造りかえるのが最善であるが、財政的な見地から早急な整備はできないが、点検回数を増やし、危険部位の把握に努め、対応できる安全確保等を考えたい。また、河川整備については、本年度も4河川の河床整備を実施している。今後も河川状況を把握した上で機能管理に努めたい。

（その他質問事項）

○消防合併後の消防団の対処について

曾於市有機センター、国富町クリーンセンター視察（9月30日）

産業厚生委員会は去る9月30日に産業厚生委員6名、希望参加議員2名、計8名で曾於市と宮崎県国富町にある堆肥センターを視察研修しました。

両センターでの管理運営状況、生産工程、処理量及び製品製造量、臭気問題等について説明を受けました。

曾於市では機械化による安定した堆肥づくりに努めていました。また、国富町では本市と同様に家畜廃棄物と一般家庭からの生ごみを混ぜ合わせ衛生的に堆肥化処理を行っています。臭気問題については両センターとも苦慮しているような印象でした。



平成21年第3回定例会に付議された事件審議結果一覧

番号	事件名	審査結果
議案 第66号	平成20年度垂水市水道事業会計決算認定について	認定
議案 第67号	平成20年度垂水市病院事業会計決算認定について	認定
議案 第70号	垂水市税条例の一部を改正する条例 案	原案可決
議案 第71号	垂水市国民健康保険条例の一部を改正する条例 案	原案可決
議案 第72号	垂水市公民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例 案	原案可決

番	号	件	名	審査結果	
議案	第73号	新たに生じた土地の確認について		原案可決	
議案	第74号	字の区域変更について		原案可決	
議案	第75号	鹿屋市との間において定住自立圏形成協定を締結することについて		原案可決	※
議案	第76号	垂水市教育委員会委員の任命について		同意	
議案	第77号	垂水市教育委員会委員の任命について		同意	
議案	第78号	垂水市固定資産評価審査委員会委員の選任について		同意	
議案	第79号	平成21年度垂水市一般会計補正予算(第4号)案		原案可決	※
議案	第80号	平成21年度垂水市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)案		原案可決	
議案	第81号	平成21年度垂水市老人保健医療特別会計補正予算(第1号)案		原案可決	
議案	第82号	平成21年度垂水市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)案		原案可決	
議案	第83号	平成21年度垂水市漁業集落排水処理施設特別会計補正予算(第1号)案		原案可決	
議案	第84号	平成21年度垂水市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)案		原案可決	
議案	第85号	平成21年度垂水市介護保険特別会計補正予算(第1号)案		原案可決	
議案	第86号	平成21年度垂水市病院事業会計補正予算(第1号)案		原案可決	
議案	第87号	平成21年度垂水市一般会計補正予算(第5号)案		否決	
議案	第88号	平成20年度垂水市一般会計歳入歳出決算認定について		継続審査	
議案	第89号	平成20年度垂水市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について		継続審査	
議案	第90号	平成20年度垂水市老人保健医療特別会計歳入歳出決算認定について		継続審査	
議案	第91号	平成20年度垂水市後期高齢者特別会計歳入歳出決算認定について		継続審査	
議案	第92号	平成20年度垂水市交通災害共済特別会計歳入歳出決算認定について		継続審査	
議案	第93号	平成20年度垂水市地方卸売市場特別会計歳入歳出決算認定について		継続審査	
議案	第94号	平成20年度垂水市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について		継続審査	
議案	第95号	平成20年度垂水市老人保健施設特別会計歳入歳出決算認定について		継続審査	
議案	第96号	平成20年度垂水市と畜場特別会計歳入歳出決算認定について		継続審査	
議案	第97号	平成20年度垂水市潮彩町排水処理施設特別会計歳入歳出決算認定について		継続審査	
議案	第98号	平成20年度垂水市漁業集落排水処理施設特別会計歳入歳出決算認定について		継続審査	
議案	第99号	平成20年度垂水市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について		継続審査	

番 号	件 名	審査結果
意見書案 第19号	保険でよい歯科医療の実現を求める意見書について	原案可決
意見書案 第20号	EPA・FTA推進路線の見直しを求め、日米FTAの推進に反対する意見書について	原案可決
陳 情 第18号	国道220号牛根麓地区（牛根麓宮崎小路川～牛根麓簡易郵便局）の歩道拡幅工事の早期実施を求める陳情	採 択
陳 情 第19号	保険でよい歯科医療の実現を求める意見書を政府に提出することを求める陳情	採 択

※は賛成多数 無印は全会一致

公営企業決算特別委員会審査結果報告

(9月1日)

去る6月18日の平成21年第2回定例会において、公営企業決算特別委員会付託となり、閉会中の継続審査になっておりました議案第66号平成20年度垂水市水道事業会計決算認定について、及び議案第67号平成20年度垂水市病院事業会計決算認定についてを、去る8月4日、公営企業決算特別委員会を開き、審査いたしましたので、審査の経過及び結果について報告いたします。

審査にあたりましては、予算が議決した趣旨と目的に則って適正、かつ、効率的に執行されたかどうか、問題点はなかったか、そして、どのような行政効果が発揮できたか、そのことで今後の行財政運営においてどのような改善工夫が必要か、に重点を置き、さらに、計数的なことについては、監査委員の監査を十分に尊重し、決算報告書、監査意見書に基づいて、関係課長の説明を求めながら予算執行の適否について慎重に審査いたしました。

それでは、両決算の主な質疑について申し上げます。

最初に、水道事業会計決算での質疑について報告します。

歳出において営業外費用の内訳や給水戸数についての質疑があり、営業外費用として起債償還金のうちの企業債利息が4,100万円程度、その他雑支出として不納欠損の振り替え分があり、給水件数については、6,955件で、前年度に比べ30件の減、給水人

口は1万4,598人で前年度に比べ212人の減となっております。毎年減ってきているとの回答がありました。

また、不納欠損の件数と徴収方法はどうのように考えているかについての質疑があり、件数は、16名で104件、金額にして13万1,662円であり、いずれも5年経過しており全員が住所不明で把握が困難である。今後の徴収方法としてこれまで督促状を出してから催告状、給水停止に至るまで4ヶ月程度かかっていたが、今年度はそれを2ヶ月程度でやり、納付誓約もお願いしているとの回答がありました。

次に、本管の布設替えが終わった後の漏水の状況や配水管の布設替えは考えているのかという質疑に対して、本管の布設替えは99%終わっているの

で、本管の漏水については、1桁台であるが、家庭内漏水については、古い家屋の漏水が増えてきており、それらは検針の時にわかるので、状況を説明し対応している、また、配水管の布設替えについては、将来的な計画に入っているとの回答がありました。

次に、病院事業会計決算での質疑について報告します。

まず、現在早期発見、早期治療という中で人間ドックの状況及び、申し込み時の受診予定日が延びているが、問題点はなにかとの質疑に対して、中央病院では、人間ドックは、毎年若干ではあるが増えてきており、その上医師

不足等により受診日が延びていると思われる。8月からは、常勤の医師が2名増えるので、人間ドックについても積極的におこなっていくという回答がありました。

また、医療機器を購入する際に前の機器を下取りで出した場合、値引き額と下取り額は明示されていないのかという指摘に対して、値引きの中で処理しており、今後は額の表示をするように指導していきたいとの回答がありました。

次に、欠損金の状況についての質疑に対して、未納者に対して中央病院も市も努力をしているが、生活困窮者が大部分であり徴収が難しいところであるが、今後は60万円以下の悪質な未納者については、少額訴訟制度を導入し、対応していきたいとの回答がありました。

最後に、前年度に比べ20年度は純利益が落ちていますが、その原因とこれからの病院経営に当たり改善の余地はどうかあるのかという質疑に対して、一番の原因は、中央病院に病院事業会計から出す人件費相当額に当たる交付金がない原因で、医師の定期昇給とか看護師等の人件費アップであり、従前は10対1の看護基準（患者10人に対して看護師1人の割合）であったが、これらを7対1に変更したために昨年10数人の看護師を採用しており、その結果経費がかかった。しかしながら今後は、保険

診療が7対1の看護基準に変わったため、保険診療の収入が増える見込みのため経営改善が見込まれるとの回答がありました。

以上、主な質疑について申し上げます。

両決算の総括として、共に公営企業として健全な事業運営がなされているが、監査委員の指摘にもあるように、水道事業では収益の基礎となる給水人口の減少、企業債の増加での経営の影響が心配される点、病院事業では、「後期高齢者制度」をはじめ診療報酬のマイナス改定、医師不足による患者数の減少等による経営面での困難が予想される点などがありますが、これらを克服していくためにも、財政運営の改善と健全化に努めていただきたいと思ます。

そして、さらに安心安全な水道水の提供と安心安全な医療サービスの提供に努めていただきたいと思ます。

以上の質疑や内容を踏まえた上で、本委員会としては両決算とも適正であると認め、次の要望を付して認定することに決定しました。

要望事項を申し上げます。

一つ、最近、人間ドックの受診希望日より、受診日がかなりずれているので、出来るだけスピーディに受診できるようにしていただきたい。

一つ、今後医療機器を購入する際、前の機器の下取りを行う場合は、下取りの金額を明示するようにしていただきたい。

また、平成20年度垂水市水道事業剰

余金処分計算書案及び、平成20年度垂水市病院事業欠損金処理計算書案についても、原案のとおり可決することに意見の一致をみました。

以上で報告を終わります。
(委員長報告をそのまま掲載しました。)

葛迫猛議員御逝去



故葛迫猛議員

葛迫猛氏は去る8月18日御逝去されました

平成3年4月に初当選以来、5期18年4ヶ月間に亘り市政発展に寄与されました。その間、総務委員長、産業委員長、農業委員、副議長を歴任され、平成21年5月からは、議長として円滑な議会運営に尽力されました。

ここに生前のご功績を回顧し、心から追悼の意を表し、謹んでご冥福をお祈りします。

編集後記

「新型インフルエンザが本格的な流行になりつつある」と国立感染症研究所が警告しました。

そのような中、役所や公共施設の入り口には消毒スプレーが設置され、対策準備も着々と進んでいるように思われます。11月に入り優先順位はあるもののワクチン接種も始まるようになります。しかしながら、予防対策に一番効果のあるワクチン接種については自己負担があります。失業や倒産等で家計にゆとりがなく、不安ではあるが諦めざるを得ない人も出てくるかもしれません。県内では自治体が補助する動きも始まっています。なによりも「手洗い、うがい」など日頃の予防が肝心ですが、大流行に立ち向える医療体制・支援体制を国や市が整えられるかが課題ではないでしょうか？

※市内のワクチン接種開始時期は、現在のところ未定です。決まり次第チラシ等でお知らせする予定です。

市議会へ行く

平成21年第4回定例会会期日程案

11月30日 本会議

12月8日 本会議（一般質問）

12月9日 本会議（一般質問）

12月11日 産業厚生委員会
12月14日 総務文教委員会
12月16日 議会運営委員会
12月18日 本会議

※本会議は、市役所3階の議会傍聴席にて傍聴できます。

※委員会の傍聴は、委員長の許可が必要ですが。

※11月30日、12月18日の本会議は午前10時から、一般質問及び各委員会は午前9時30分からの開会予定です。

※市などへ意見や要望があるときは、だれでも請願書や陳情書を市議会に提出することができます。請願は市議会議員の紹介を必要としませんが、陳情の場合は必要ありません。なお、定例会前の議会運営委員会前日までに受け付けたものが、その会期中に審査されます。

日程は変更になる場合がありますので、議会事務局までお問い合わせ下さい。

編集等についてのご意見、ご感想等がございましたらお気軽にお寄せ下さい。

お問い合わせ

垂水市議会事務局

☎ 32-11111 (358)

メールアドレス

gikai@city.tarumizu.lg.jp